

平成28年度 第2回学校評議員会記録

日時	平成28年12月13日(火) 15:30~17:50
場所	本校校長室
参加者	評議員：唐眞盛充(元本校校長)、前花安勝(宮良公民館 館長) 川崎弘子(やふあてい相談支援員)、大江恵理子(前本校PTA) 校長、教頭 計6名
内容	(1) 学校長挨拶 (2) 2学期の学習活動等について (3) 平成28年度学校評価について (4) 意見、情報交換 (5) その他

【質問】

- ①学校評価(自己評価)で「参加ができていない」との反省のある「八特クラブ」とは何か。
⇒ 福利厚生の一環として、職員向けにクラブ活動のような取組を行っている。
- ②隣接地へのリゾートホテルの建設はどのような状況か。
⇒ 建設予定地は例年行事等の際、駐車場として利用させていただいている。次年度から建設に係る調査のため利用が制限される見通し。(校長・教頭)
- ③高3の担任に地元事情に通じた職員を充てるのは校内人事で対応かのようなことか。
⇒ 地元出身者が少ない事情がある。進路担当は地元の事情に精通しており、当該担当が担任等を支援している。初任者の離島配置等、地元出身者を地元の学校に根付かせる取組が望まれる。(校長)
- ④自己評価の設問にある「マスタープラン」とは何か? 子どもたちとどう関わりがあるのか。
⇒ 学校の緑化に関する計画。本計画に沿って取り組む緑化活動のうち、学校の美化等、可能なものは子ども達も授業を通して関わっている。(教頭)
- ⑤保護者アンケートで「勉強の時間が少ない」とあるがどういう背景か。
⇒ 子どもたちの自立・社会参加の促進に向けては、教科指導、作業、対人スキル、コミュニケーション等、様々な取組を要する。無記名アンケートのため特定はできないが、教科的な指導の時間の増を要望されていると解釈している。本件については、児童生徒個々の実態に応じて指導を行っている背景もある。(教頭)
- ①保護者アンケートで「入舎生を祭日に在舎させたい」との要望は自由に決定できるのか。
⇒ 職員の勤務にも関わるため安易に決定はできない。周辺離島の在住者のケース等、入舎生の帰宅に係る負担も考慮にいれながら対応を検討していく必要がある。(校長・教頭)

【意見・感想等】

- ①子どもの指導内容等については、保護者と情報共有していく必要がある。
- ②児童生徒アンケートで、学校の雰囲気、いじめ、相談できる教師の存在等について否定的な意見があることについて、全職員で状況を認識し、日々の取組を省みながら対応してもらいたい。
- ③子どもたちには、いいところを見つけて褒めてあげることが大切。
- ④保護者からの要望が多いが、対応が難しいところもあると思われる。ご苦勞を察する。
- ⑤子どもたちのアルバイトの様子を時々見かける。自立に向けて頑張っている。
- ⑥1月14日の宮良地区での販売活動は心得ている。その他にも10月末頃に村祭りがあり、三線を学んでいる子どももいるのであれば、参加を検討してはどうか。